

1. はじめに
2. ことば豆知識
3. 検索エンジン（サーチエンジン）を知る
4. 代表的な検索エンジン
5. 検索エンジンの利用例：Google の場合
6. 検索エンジンの利用例：Yahoo! JAPAN の場合

1. はじめに

インターネットにより、世界中の電子的な情報のかなりの部分が瞬く間に得られるようになりました。インターネットを利用する上での利点、注意点、用語をご説明するとともに、膨大な情報の中から自分の求めるものを探し出す手立てとしての検索エンジンをご紹介します。

インターネットは、最新の情報や印刷物になりにくい情報、政府などの行政機関や民間企業などの取り組みといった幅広い情報を知るときに威力を発揮します。また、リンクにより関連情報を次々に見ることができます。

その反面、利用する上で気をつけなければいけないこともあります。

たとえば、住所、電話番号、カード No.など、個人のプライバシー情報は、日常生活同様慎重に取り扱わねばなりませんし、ネット上の情報は正しいものばかりとは限りませんので、情報源、責任の所在が明らかにされているかなどを良く見て、各自で情報を取捨選択しましょう。

また、ネット上でもネチケットと呼ばれるマナーがあります。安全にインターネットを楽しむためには『ネチケット情報』(<http://www.cqh.ed.jp/netiquette/>)を、医療情報を扱う場合は『日本インターネット医療協議会』(<http://www.jima.or.jp/>)をぜひ一度ご覧ください。

2. ことば豆知識

ブラウザ	Macintosh、Windows などの環境上で情報を表示するため動作するもので、代表的なものとしては Internet Explorer、Netscape Navigator などがあります。
サイト	もともとはネットワークに接続しているホストコンピュータのことですが、現在はそこのサービス内容などをあらかず Web ページの集合体の意味で使われています。
ホームページ	サイトの先頭ページのこと、Web サイトにアクセスしたときに、最初に表示されるページです。慣例で「Web サイト」全体を「ホームページ」といったりする場合もあります。
URL	Uniform Resource Locators の略。インターネットでサイトを見るとき必要になるもので、インターネットに接続されたコンピュータのアドレス名やディレクトリ名、ファイル名を指します。
リンク	あるサイトの中で提供する情報に関連するサイトが別にあるとき簡単にそちらへ移動できるように仕組むことを「リンクをはる」といい、インターネットの醍醐味ともいえます。
HTML	Hyper Text Markup Language の略。ホームページを作成するための記述言語の一種で、WWW サーバーの各種の情報は、これによって記述されており、ブラウザはこれを解釈して画面上に文書や画像を表示しています。
PDF	Portable Document Format の略。Adobe 社の Acrobat (アクロバット) で作成した文書の形式で、この形式に変換すると受け取る側の環境にあまり左右されずに表示、印刷ができます。ただし、受け取る側は Acrobat Reader が必要。無料でダウンロードできます。

3. 検索エンジン（サーチエンジン）を知る

検索エンジンとは数多くのサイトの中から自分に必要なものを探し出す手助けをしてくれるものです。サーチエンジンという場合もあり、タイプ別にロボット型、ディレクトリ型と呼ばれます。

ロボット型： 全文を検索対象としている。検索結果の件数は多い反面ノイズもある。検索したいキーワードに対して and や or などの絞り込み検索が可能。

ディレクトリ型： 検索エンジンの作成者がチェックしたものが登録されている。ジャンルに分けられた分類を辿る検索なので、目的にあったものを検索できる確率が高い。

検索エンジンは各種ありますが、『検索デスク』（<http://www.searchdesk.com/>）では、各エンジンの評価、動向などを知ることができ、その場で実際に比較しながら検索することができます。

4. 代表的な検索エンジン

* **Google** <http://www.google.com>

ロボット型 + 厳選サイトのディレクトリ型検索エンジン

- ・自然文検索に対応しています。
- ・ウェブの膨大なリンク構造を用いて PageRank がされています。ページからページへのリンク数、リンクが貼られたページについての「重要度」により、ページの評価を行い、評価の高いページは高い PageRank がつけられ、検索結果内の順位も高くなります。
- ・ページ内でのキーワード同士の位置を重視し、検索した語句が近くに並んでいるページほど優先されます。
- ・リンク先のサーバーが一時的にダウンしたりした場合も、キャッシュに格納したページを表示し、「サイトが見つからない」ということはありません。キャッシュへのアクセスは、情報の最新度は落ちますが、通常のリンクをたどるより高速で検索できます。

* **Goo** <http://www.goo.ne.jp>

ロボット型 + ディレクトリ型の検索エンジン

- ・サイト検索では検索設定により細かな絞り込みが可能です。
- ・サーチ以外でも、鮮度の高いニュース・エンタテインメント・ビジネス・生活関連情報などのコンテンツ、Web メール、掲示板をはじめとする Web コミュニティサービス、さらにネット上で商品が購入できるショッピングサービスなど、多様なサービスを提供しています。

* **Yahoo! JAPAN** <http://www.yahoo.co.jp>

ディレクトリ型の検索エンジン

- ・サイト管理者やユーザーから推薦されたサイトに対して、Yahoo! JAPAN のサーファーマが実際にサイトにアクセスし、そのサイトを Yahoo! JAPAN に掲載するかどうか、どのカテゴリに分類するかなどを決め、紹介しています。登録サイト数はのべ 27 万サイトです。
- ・ディレクトリは階層構造を持っていますので、カテゴリの一覧からたどってゆくと、キーワードを入力しなくても目的の情報にあたるようになっていきます。探したいものがはっきりしている場合にはキーワード検索も可能です。
- ・世界中にある Yahoo! の一つで、日本語での情報提供を目的としています。各国の Yahoo! へもリンクが容易です。

* **FreshEYE** <http://www.fresheye.com/>

- ・検索対象を 2 ヶ月以内に限定するというのが特徴です。登録件数を抑え、新着ページ専門の検索エンジンだけを追って頻りにページをチェックしているようです。データベースの更新が早いので、最新情報が知りたいときにアクセスしてください。

5. 検索エンジンの利用例：Google の場合

i. 検索の基本

検索ボックスに手がかりとなるキーワードをいくつか入力して Enter キーを押すか Google 検索ボタンをクリックすると対象の検索結果リストが表示されます。

入力されたキーワードのすべてがテキストかリンクアンカーと一致するページだけを検索します。検索のつど一致するテキストの抜粋を、検索語句にハイライトをつけて結果リストに表示します。



ii. さらに詳しく検索するには

・検索結果を絞り込む

初めの検索結果の範囲が広すぎた場合は、すでに入力してあるキーワードに新しいキーワードを追加するか、画面下の絞り込み検索ボタンをクリックしてボックスに新しいキーワードを入力してください。

・マイナス検索

検索結果から除きたいキーワードの前にマイナス“-”をつけて検索すると、“-”がついている言葉が含まれているページを除いたものが表示されます。マイナスの前にスペースを空けて下さい。

たとえば、“冬季”を含まない“オリンピック”のページを検索する場合は、



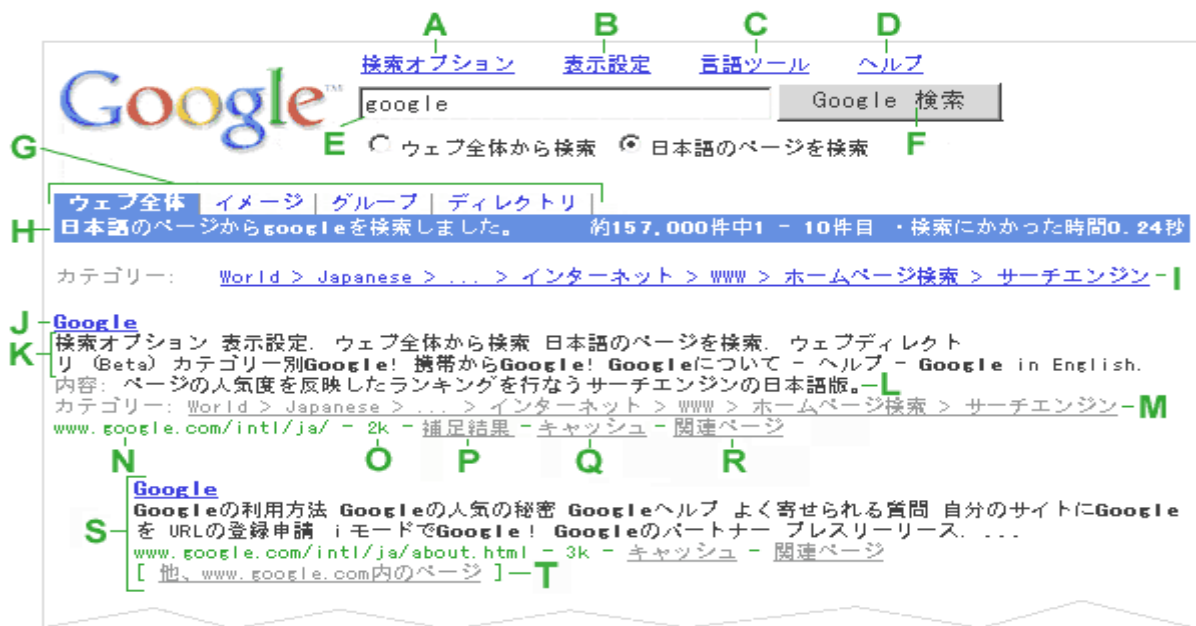
と入力します。

・フレーズ検索

引用符を使ってフレーズ検索ができます。“like this”のようにキーワードを引用符で囲むと、その言葉が文中に並んでいるページだけを検索します。(“+”記号が必要なストップ語句は除きます。)フレーズ検索は、名言や固有名称を検索するのに便利です。

引用符のほかにも言葉をつなげる役割をもつ文字がいくつかあり、ハイフン(-)、斜線(/)、ピリオド(.)、等記号(=)およびアポストロフィ(')は接続記号として認識され、引用符と似たフレーズ機能を持ちます。たとえば、mother-in-law は全体を引用符で囲まなくても、三語のフレーズとして扱われます。

iii. 検索結果の解説 (Google ヘルプ “検索結果の見方” より抜粋)



- A. **検索オプション**
必要に応じて検索を限定するオプション設定ページへリンクします。
 - B. **表示設定**
表示言語の設定、検索言語の設定、1 ページあたりの検索結果の表示件数、検索ウィンドウの設定などを指定するページにリンクします。
 - C. **言語ツール**
検索対象となるページの言語および表示言語の設定ページにリンクします。
 - D. **ヘルプ**
検索に関する基本的な特徴および検索方法、また、さらに詳しい検索の方法を説明するページにリンクします。
 - E. **検索ボックス**
探したい情報の手がかりとなるキーワードを入力して、「Google 検索」ボタンをクリックするか、Enter キーを押すと、対象となる検索結果が表示されます。
 - F. **Google 検索ボタン**
このボタンをクリックして、検索を実行します。また、Enter キーを押しても検索を実行できます。
 - K. **タイトル下のテキスト**
該当ページからキーワードが一致した部分を抜粋したテキストです。キーワードが太字でハイライトされているので、リンクをたどらなくてもどのような文脈でキーワードが使われているのかが分かります。
 - L. **内容**
該当ページが「ウェブディレクトリ」にリストされている場合、Open Directory の作成者によって記載された説明が表示されます。
 - Q. **キャッシュ**
このリンクをクリックすると、インデックス付けの時点で保存されたページのコンテンツが表示されます。Google では該当ページのサーバがダウンした場合でも、検索が行えるよう多数のウェブページをキャッシュに格納しています。キャッシュ済みバージョンでもキーワードがハイライトされます。
- * その他の項目は [Google のヘルプ](#) 画面を参照してください。

6. 検索エンジンの利用例：Yahoo! JAPAN の場合

iv. 検索の基本

・カテゴリ検索

興味のあるテーマについて広く情報を知りたい場合に便利です。キーボードを使わなくてもマウスだけで知りたい情報を探せます。

例)教育(大学) > 都道府県別一覧 > 東京都 と辿り「聖路加看護大学」のサイトを表示させました。



・サイトをキーワード検索した結果

登録サイトの中で「サングラスマーク 🕶️」がついているサイトは、Yahoo! JAPAN 創業以来インターネットを見つけているサーファーが太鼓判を押すサイトです。



・ページをキーワード検索した結果

カテゴリと登録サイトに一致する内容がなかった場合には、自動的に「ページとの一致」の検索結果が表示されます。ページとの一致の検索結果には、Yahoo! JAPAN が提携するロボット型全文検索サービス Google のデータベースによる検索結果が表示されます。



* 詳しくは Yahoo! ヘルプ画面を参照してください。